

3. 公立保育所のあり方

■2021年3月定例会における質問・答弁

○質問(たかの)

保育士の育休取得率が高いことをふまえ、保育現場の労務環境を改善するために公立保育所の民間移管を進めるべきと考えますが、市の見解と今後の具体的な取組内容をお聞かせください。

○答弁(こども支援局長)

今津文協保育所以外の2園に関しましては、次年度当初の待機児童数を確認し、閉園の時期等について改めて検討したいと考えております。(略)今後の公立保育所につきましては、保育需要の推移や施設の耐用年数等を踏まえ、私立を含む総量としての適正配置や公立施設として果たすべき役割等の観点から、そのあり方について検討を行っていきたいと考えております。

○再質問(たかの)

ご答弁にあった公立保育所のあり方とは具体的にどのようなものなのか、市長のお考えをお聞かせください。

○答弁(市長)

民間でなくて公立保育所だから果たす役割、これに関して今私の考えをここでつまびらかにするのは、コンセンサスがまだ得られておりませんので、控えたいと思います。(略)公立保育所としての役割が何かというコンセンサスをしっかり得た先に、次の何らかの計画といいますか、方針というのが見えてくる、そのように考えております。

○再々質問(たかの)

でしたら、ちょっと聞き方を変えますけれども、そのコンセンサスを得ていく、その検討の進め方であったりスケジュール感、これについてはどのようにお考えかをお示しいただきたいです。

○答弁(市長)

これは、こども支援局が主体的にやるというのではなくて、市長の私がリーダーシップを持って、そして庁内でまずもんでいくというようなことであります。スケジュールに関しては、今ここで、これもまたコンセンサスの要るものでありますけれども、ボールは私のところにあるんだろうなという認識はしております。

(参考)市立保育所の現状

民間移管計画	保育所	状況
対象	今津文協保育所	2026年度末に閉園予定
	朝日愛児館	
	鳴尾北保育所	
対象外	芦原保育所	2025年度末に閉園予定
	その他(19園)	